山村塾は都市と農山村の住民が一緒になり、環境にやさしい米づくりや
豊かな生態系の森づくりを通じて山村の環境を守るグループです

2023年3月号

こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾通信

「八女茶発祥 600 年祭」

今年 2023 年は八女茶が伝わって 600 年と言われる記念すべき年です。八女市や福岡県では、記念式典・イベントがいろいろと計画されており、地域の会合では「600 年」にちなんだ話をよく聞くようになってきました。

日本にお茶が伝わったのは 830 年ほど昔の 1191 年、栄西禅師が中国（宋）から茶の実を持ち帰った際と言われており、それから約 230 年後の 1423 年（応永 30 年）、栄林周瑞禅師が中国（明）から茶の実を持ち帰り、鹿子尾村（笠原の上流エリア）の庄屋だった松尾太郎五郎久家に茶栽培や製茶技術を伝え、霊巌寺が建立されたと言われています。実はこのあたり、600 年、800 年も昔のことなので諸説あり、「もっと昔から伝わっていた」、「そもそも茶の木は日本在来のものがあった」、「八女茶が伝わったのは本当は〇〇村だ」などなど歴史ミステリーな話がたくさんあります。どこまでが真実かは分かりませんが、600 年ほど前の室町時代、笠原の地に茶栽培が伝わり、今日まで続いてきたことは間違いないでしょう。600 年前には既に奥八女地域の山間部に人々の暮らしがあり、山仕事や農作業が営まれ、そして山々や棚田や茶畑と集落の風景がこれまで継承されてきたんですね。すごいことです。

ちなみに「八女茶」の名称となったのは大正時代のことで、それまでは鹿子尾茶、大淵茶、星野茶、矢部茶などの地域名だったそうです。

600 年祭の今年、山村塾では、民謡「八女茶山唄」にあわせて踊る「八女茶山おどり」を軸に、600 年の時間を想像できるようなアートイベントを計画しています。それは 600 年の間に続いてきた様々なことを感じながら、これからの 600 年を想像するということです。そこには茶産業、茶文化のみならず、将来の子供たちや地域、社会に対しての夢や希望が重なり、そういったことを皆さんと一緒に考える時間が、美しい風景を育み、持続的で豊かな社会の創造につながっていくのではないかなと期待しています。

ゆっくりと八女茶を淹れて味わいながら、皆さんも 600 年の時を想像してみましょう。（小森耕太）

※八女茶発祥 600 年祭について→

※八女茶山おどり：2019 年、民俗芸能アーカイバーの武田力さんを中心として奥八女芸農ワークキャンプを通じて創作された。https://sansonjuku.com/project/yamechayama

※５月３～４日は里山ミニワーク「お茶つみ」です。昔ながらの在来茶園で手摘み、釜煎り、手揉みのお茶づくりです。久しぶりに宿泊型で行います。お時間ある方は一緒にお茶を楽しみましょう！

稲作コースより

冬の稲作コースは、年末恒例のしめ縄づくりです。難しい工程もありますが、全員立派な"博多棒しめ縄"を完成させることができました。2年目、3年目と参加している会員さんの中には、縄ないをばっちり習得し、初めての方に教える場面もありました。稲作コースの行事が、しめ縄づくりの技や文化を伝える場のひとつになっていることを実感しました。

3月は稲作コースの棚田で石垣の草取りを行いました。春の陽射しのもと、おしゃべりしたり、冬眠中のカエルを見つけたりしながらの活動でした。石垣を覆う草や土を鎌で取り除いていく作業は、まるで遺跡発掘のようで夢中になります。そして美しい石垣が姿を表すと、達成感でいっぱいです。一昨年からこの石垣の草取りを進めてきたおかげで、きれいな石垣が少しずつ広がってきました。一度草取りすると、夏の草刈りがずいぶんと楽になるし、県道からも美しい石垣が見えるのがまた嬉しいです。

春が来て、また米づくりが始まります。棚田でお待ちしております！（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	スタッフ	計
12/4	しめ縄づくり	27	4	7	38
3/5	棚田の石垣草取り	9	0	4	13

しめ縄づくり（12/4）

みんな夢中、石垣草取り（3/5）

農家の声

生前葬を行う！！

ここ最近、冠婚葬祭の有り方について、華美になりすぎて本人（当事者）の想いと少しかけ離れてしまった内容かなと感じていました。実際は気付かないまま進行していたというケースも多々あるかもですが、そこで、近くの神社での結婚式であったり、会費制の披露宴、更には家族葬や直葬といった、旧来の様式に囚われない、当事者の想いを尊重した内容もあって良いと感じます。比率的にはごくわずかの少数派ですが、実は私もその少数派の考え方を持つ者として、終活を対象にした時、「生前葬」なる方法での実施を選択しました。ごく身近な方々に数時間お付き合い頂き、楽しく和やかな時間を持てたらという思いです。この通信が届く頃には終えている筈です。

最近終活の中に、身じまい、家じまい、墓じまいといった具合に、家族間で継承されず、その代で区切りを付けるやり方が見受けられるようですが、これもまだまだ少数派で、田舎のあちこちには荒れ果てた墓地が発生しつつある中、そこも含めて本気で終活を考える時期を迎えた私が、選んだ方法が家族葬だったり生前葬でした。

こんな私ですが、残された時間を更に充実したものとして皆様と楽しく生きたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

ちなみに、実際の葬儀に関しては、最低限の事のみとし、それ以上はやらない方法を書き送ります。

2023年3月
百姓　椿原 寿之

3/18 生前葬にて

山林コースより

2月・3月の山林コースでは、子どもたちや八女市ユース部（市役所の若手職員グループ）の皆さんの参加があり、賑やかな活動となりました。たくさんのご参加ありがとうございました！

3月の「植林」では、えがおの森の斜め上に、広葉樹を植林しました（クヌギ250本、シャクナゲ35、サカキ20、ホオノキ10、コブシ10、モミジ15、エゴノキ15、合計355本）。約50年生のスギがあった急斜面ですが、花や紅葉を楽しめる森になることを期待します。今回は地元の役員さんたちも指導役として加わり、おしゃべりもはずみました。

今回植えたクヌギは、約20年後には、椎茸の原木や、薪・炭に適した材となります。そしてクヌギは伐ったあとも、また切り株から芽が出て再び育っていきます。伐って使い、また育てる…というサイクルを回すことで、持続的に森林資源を活用でき、また、明るい森の環境を好む生き物のすみかをつくることにも繋がります。

ここでの森づくりは始まったばかりです。夏の下草刈りなど、また一緒に汗を流しながら、いろんな交流がうまれていくといいなと思います。（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	スタッフ	計
11/27	森の手入れ②	4	2	4	10
2/4	しいたけ菌打ち①	11	7	5	23
2/5	しいたけ菌打ち②	11	1	5	17
2/26	炭焼き	13	6	4	23
3/12	植林	10	6	11	27

355本の広葉樹を植林完了！（3/12）

※（社団法人）国土緑化推進機構の「緑の募金」を活用して実施しました。

寒かった冬が終わり、梅の花や菜の花そして早咲きの桜も咲き始め笠原も春の訪れを日々感じるようになりました。山林コースの行事も植林で今年度の行事が終わります。

2/4・5の椎茸菌打ちでは、総勢30人の方に参加いただき、お陰様で作業が進みました。その後、原木の林内への伏せこみ作業も無事終了しました。1年半から2年後にはこの原木から沢山の椎茸を収穫する事が出来そうです。椎茸も、今が収穫期を迎えています。今年は、雨が少ないので水分が少ない椎茸ですが、乾燥椎茸には燃料代を考えるとよいのか？いろいろ複雑です。

2/26の炭焼きでは、宮崎からの日帰りで懐かしい参加者もあり、19名の参加を頂きました。別メニューで、薪積みと、木の実や木の枝のお花炭（飾り炭）等行ってみました。昼食には羽釜ご飯を炊いて頂きました。風は冷たかったですが、天気も良く春を感じた1日でした。

私事ですが、久しぶりに熱発しました。コロナやインフルエンザの流行を耳にする中で、周りに罹患者はいないものの、否定する必要性に迫られ病院を受診し検査を受けた結果、幸い陰性。風邪薬を飲んだものの未だに鼻水が止まらない。今度はもしかして花粉症？一年ごとに確実に体力や免疫力の衰えはやってきていることを実感！！気持ちはまだまだ〇歳なのに。やっぱり健康第一ですね。（身体的にも精神的にも）

今から暖かくなると仕事も忙しくなってきます。より一層気を付けて、時にはゆっくり休んでそれなりに頑張ります。皆さんも健康にはお気を付けください。4月の顔見せ会で会いましょう。

植林した斜面を背景に…

山林コース
宮園 佐津美

山村塾＊活動レポート

日帰りボランティア

11 月～3 月 8 日の期間に 6 回実施し、延べ 21 名の方々に参加いただきました。主に薪づくりと、ラッキョウ畑の手入れ等を行いました。
▶ 4 月以降も、月に 2 回（主に第 2・4 水曜日）の活動を予定しています。詳細はホームページをご覧ください。

日帰りボランティア 薪づくり

デジタル基盤強化プログラム

「TIS × 日本 NPO センター・TechSoup 協働事業 デジタル基盤強化プログラム」の支援を受けて、2 名の IT 専門家にプロボノとして伴走いただき、デジタル環境の課題解決に取り組んでいます。

ファイル共有や顧客管理、ホームページ・メールの設定等、不安に感じていたデジタル面の課題を、客観的に診断しアドバイスをいただいています。

オンラインで打合せしています

その他の活動報告

日付	活動内容	会員	一般	スタッフ	計
12/11	里山ミニワーク「炭焼き」	2	0	3	5
1/7	左義長準備	15	3	7	25
1/8	全体行事「左義長」	52	7	13	72
2/12	里山ミニワーク「みそづくり」	5	3	5	13

新年最初の行事、左義長です！（1/8）

～お知らせ～

山村塾 今後の予定

日程	行事名
3/25（土）・4/8（土）	チェーンソー基礎講座 2023
4/9（日）	全体行事「顔見せ会」
5/3（水）～4（木）	里山ミニワーク「お茶つみ」（1 泊 2 日）
5/7（日）	稲作コース「稲の種まき」
5/20（土）・21（日）	里山ミニワーク「棚田の草刈り」
5/28（日）※	第 10 回通常総会
6/4（日）	山林コース「下草刈り①」
6/10（土）・11（日）	稲作コース「田植え」（2 回開催）
6/18（日）	稲作コース「鴨進水式」
7/9（日）	稲作コース「田の草取り・草刈り①」
7/23（日）	山林コース「下草刈り②」
8/4（金）～6（日）	山村たんけんキャンプ（子どもキャンプ）

※年間予定から日程を変更して開催します

▶行事および里山ミニワークの開催については、状況に応じて随時判断します。最新情報はホームページ、メールニュースにてご案内します。
※イベント情報のご案内を、FAX や郵送で希望される方は、事務局までお知らせください。

▶ 2023 年度の行事予定

・行事前日ボランティアの募集を再開予定です。椿原家・宮園家で行事の準備や農作業などを行います。詳細は各行事の募集案内に掲載します。
・4 年ぶりに山村塾の子どもキャンプを計画中です！（8/4～6 予定）

2023 年度年間予定表
ダウンロードはこちらより→

スリランカ便り

冨吉 満之

6月からスリランカに滞在中の
山村塾会員・冨吉さんによる連載【最終回】です。

3. 農村＋α編

これを書いている3月6日は「ポーヤ」と呼ばれる、月に一度の祝日です。満月の日は毎月、お休みになり、（仏教徒の）人々はお寺に行ったりして過ごします。この日は飲酒は禁止されています。人口の7割を占めるシンハラ人は仏教徒です。家にも外にもいろんなところに仏様の像がありますし、人々は熱心に拝みます。

さて、スリランカの村の景色をご紹介します。田んぼがあり、水路があり、家が点在する。日本との違いは、そこにバナナやココナツ、様々な果物の木が植えられていることでしょうか。以前にある村の家に連れて行ってもらった際のことです。暑い中、歩いていたので喉がカラカラでした。すると、庭にあるココナツの木に、おじさんがスルスルと登っていき、ココナツを切って落としてくれました（写真1）。それをカットして、その場で飲むココナツジュースは格別でした。現在では水道が普及していますが、それ以前は、このココナツが水筒の代わりになってたんだと思います。

また、去年の12月には、別の村で田植え体験（！）をさせて頂きました。スリランカの稲作は全般的に手植えが主流のようです。私の子供たちも一緒に、苗をちぎって植えていきましたが、まるで椿原さんの田んぼにいるかのような気分でした！（写真2）印象的だったのは、休憩時間に食べるパンを、人々は最初に少しちぎって、その辺りに「ポイッ」と放ったことです。どうもその行為は、「食べ物を頂けることに感謝して、別の生き物にその一部を分かち合う」ということのようなのです。ここでも、仏教が深く根付いていることを垣間見ました。

写真1　ココナツの木の実をカット！

写真2　田んぼで田植え体験

最後に、私の2人の息子は現地の幼稚園・小学校に通っています。言葉もほとんど分からない中で、馴染んでいっていることには感心します。特に、シンハラ語の吸収については、目を見張るものがあります。もうすぐ帰国ですが、椿原さんのお米を食べる日を楽しみにしています。最近の一言「ご飯と味噌汁はご馳走やね」。

読んでくださり、どうもありがとうございました。

とみよし・みつゆき
久留米大学経済学部 准教授

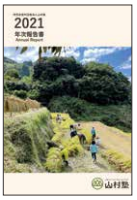
山村塾メールニュースのご案内

山村塾の活動や、イベント情報等をお知らせするメールニュースを、月に2回程度配信しています。どなたでも登録可能です。配信希望の方は事務局までお知らせください。

また、ホームページにも過去の配信内容を掲載しています。（※ 2023/3/7 号より）

メールニュース
バックナンバー

2021 年度 年次報告書ができました



山村塾の 2021 年度の活動や成果をまとめてご紹介しています。ホームページから PDF をご覧いただけます。

年次報告書
こちらより

山村塾の SNS
発信中

Facebook　Instagram

事務局より

会員募集中！

■ NPO 会員：山村塾の趣旨に賛同し、会員として私たちの活動を継続的に応援してくださる NPO 会員を募集しています。総会での議決権を持つ「正会員」と、議決権を持たない「賛助会員」があります。
■活動コース会員：いっしょに田んぼや山で働く活動コース会員（稲作・山林、稲作、稲作 30kg、山林、古里）をいつでも募集しています。

ご寄附のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄附で支えられています。山村の暮らしに学び、山村の環境を守る取り組みに、ぜひご協力をお願いいたします。
【山村塾は「認定 NPO 法人」です】
山村塾へのご寄附は、確定申告をすることで寄付金控除の対象となります。

▶ご寄附の方法

■郵便振込口座から
加入者名：特定非営利活動法人山村塾
口座番号：０１７９０－３－１６９３９８
■銀行から
・銀行名：ゆうちょ銀行　店名：一七九（店番：１７９）
口座：当座　０１６９３９８
・銀行名：福岡銀行　黒木支店
口座：普通　１０８５３９８
特定非営利活動法人山村塾 理事長 小森耕太
※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレスをお知らせ下さい。
■農産物を買う
会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。
■古本で寄付ができます！
古本や DVD を「きしゃぽん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いします。（古本集荷依頼 TEL：0120-29-7000、山村塾に寄附したい旨をお伝えください。）

会員状況（2023 年 2 月末時点）

▶ NPO 会員
【正会員】　個人：37 名、団体：4 団体
【賛助会員】　個人：79 名、団体：2 団体
▶ 2022 年度活動コース会員
稲作・山林：7 名、稲作 23 名、稲作 30kg：18 名、山林：13 名、古里：7 名
▶笠原棚田米サポーター
76 名（個人 73 名、企業・団体 3 名）

寄附者（2022 年 11 月～ 2023 年 2 月）

▶個人からのご寄附
2022 年 11 月 1 日から 2023 年 2 月 28 日までに、57 件 554,543 円のご寄付を頂きました。
▶企業・団体からのご寄附
・古本募金きしゃぽん様を通じてご寄附をいただきました。（10/20：365 円）
・1/19、MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社様から 30,000 円のご寄附をいただきました。
・2/1、特定非営利活動法人ふるさと黒木応援会様から 980,000 円のご寄付をいただきました。八女茶発祥 600 年記念イベントでの活用、里山や棚田を守るボランティア活動等に役立てさせていただきます。
・3/18、椿原寿之氏から生前葬の返礼にかわり、102,000 円のご寄附をいただきました。
・3/24、あいおいニッセイ同和損保株式会社様から 300,000 円のご寄附をいただきました。

＊ご寄附のお礼＊

認定 NPO 法人の要件となる PST 判定に該当するご寄附を【127 名】の方から頂きました。（3/13 現在）
PST とは、認定 NPO 法人であるための条件の一つで、毎年 100 名以上の方に 3,000 円以上のご寄付（賛助会員会費含む）を頂く必要があります。
おかげさまで、今年度も目標を達成することができました。皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

編集後記
いろんな生きものの喜びを体感する春です。賑やかで綺麗！ヤギも嬉しそう！でも今年は駆け足で進みそう。もっとゆっくり春を味わいたいです。（原 愛子）

＼春ですね！／

＼お問い合わせ大歓迎！／

こめづくり もりづくり ひとづくり 山村塾　**認定 NPO 法人 山村塾**
〒 834-1222　福岡県八女市黒木町笠原 9836-1
TEL・FAX 0943-42-4300
Email：info@sansonjuku.com **HP** https://sansonjuku.com
FB @ sansonjuku　**Instagram** @sansonjuku_official
発行者：小森 耕太
編集者：原 愛子

※山村塾は認定 NPO 法人です。山村塾へのご寄付は寄付金控除の対象となります。

最新情報はホームページより
山村塾　検索